

日本外科学会代議員の施設における 女性勤務外科医師に関する調査報告書

平成 23 年 5 月

日本女性外科医会

日本外科学会代議員の施設における女性勤務外科医師に関する調査報告書

日本女性外科医会

サマリー

- ◆ 日本外科学会の代議員の施設ではそのシステムが臨床・教育・研究において会員の手本になることが期待されている。
- ◆ 外科医全体の数は減少しているが、女性外科医の数は増加している。
- ◆ 第3次男女共同参画基本計画が平成22年12月17日に閣議決定された。女性医師が男性医師と同様に、家庭と仕事を両立しながら活躍するために、代議員には女性外科医支援においても指導的な配慮を期待したい。
- ◆ 2010年に日本外科学会の代議員の施設における女性勤務外科医師に関して記名の調査を行い、代議員274名中157名（57.3%）が回答した。
- ◆ 回答した96施設（大学77、一般病院19）のうち、45施設（大学33、一般病院12）には病院幹部に女性医師がいなかった。
- ◆ 仕事と家庭の両立に配慮した就業環境では、院内保育園が完備、当直の免除・軽減、ハラスメント対策、チーム制による診療は半数以上で整備されていた。
- ◆ カンファレンスの時間帯の配慮は17施設（11%）でしかされておらず、院内カンファレンスの参加促進も39%と限られていた。情報の共有に課題が残った。
- ◆ 現在、支援体制を利用しながら勤務を続けている女性勤務外科医師がいたのは53%の施設で、自由記載に今まで女性医師が入局したことがない、女性外科医師がいても妊娠出産したことがない、というコメントが多数見られた。理解のある施設・診療科があるところでしか女性医師は妊娠・出産を経ての継続就労はできにくいことが示唆された。
- ◆ 行われている対策は無いと答えた施設は本調査で10箇所あった。誠実な対応を今後期待したい。
- ◆ 施設に院内保育園が完備していて、院内24時間保育が可能で、病児保育が完備されているのに、回答した代議員が整備していると認識していないことが複数あった。設備の活用には施設側の周知のための努力が欠かせない。
- ◆ 施設に勤務する場合、年間の手術症例数、当直回数、収入などの基本情報に加え、仕事と家庭を両立するのに重要な支援策が公表され、得られた情報から勤務を希望する施設を選択できるようになることを願う。

はじめに

2011 年の第 105 回医師国家試験の合格者に占める女性の割合は 32.5%であった。従来から、女性医師はキャリアパス形成中に結婚・出産・育児のために活動が制限されることが多く、その資格を十分生かせないことが問題となっていた。最近、女性勤務医師支援としての職場環境改善が強く要望されている。

2009 年 11 月、「日本女性外科医会」が発足した。日本女性外科医会の正会員は全員、日本外科学会所属の女性医師であり、準会員には日本外科学会の代議員が多数含まれる。今回、本会の支援活動の一つとして、日本外科学会の代議員の施設における女性外科勤務医師の実態と職場環境の改善の取り組みについて調査させて頂いた。2010 年 7 月に記名で行ったがアンケート回答率は 57.3%と高く、非常に広範で質の高い正確な調査結果が得られたと感謝している。

2011 年 5 月、第 111 回日本外科学会学術集会（会頭：名川弘一先生、東京）において特別企画 3 「女性外科医の現在と未来」が企画され、本調査結果の発表を予定していた。東北地方太平洋地震で学会開催が紙上開催となった。

本調査結果が今後の女性外科医支援に有用に活用できることを願い、報告書にまとめた。今回の調査にご協力頂いた日本外科学会代議員の皆様、アンケート回収にご尽力いただいた関係各位の方々に心より深謝する。

平成 23 年 5 月

日本女性外科医会

代表世話人 富澤康子

日本女性外科医会

代表世話人	富澤 康子 ☆
世話人	川瀬 和美
世話人	野村 幸世
世話人	明石 定子
世話人	萬谷 京子
世話人	神林 智寿子
正会員	河野 恵美子 ○

○：企画者 ☆：実施・分析担当者

目 次

1. 調査の背景と目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査票の作成及び分析について	1
I. 概要	2
I－①. 病院幹部、管理職の女性医師（病院長、学部長、教授、等）	2
I－②. 所属診療科における女性医師の割合（後期研修医を含む）	3
I－③. 所属診療科における女性常勤医師の割合〔女性全医師に対する〕 （後期研修医を含む）	4
I－④. 所属診療科における常勤医師の割合〔全医師に対する〕 （後期研修医を含む）	5
II. 施設内で整備されている育児中の常勤医師の、勤務態勢等について	6
II－①. 仕事と家庭の両立に配慮した就業環境	6
II－②. 出産育児に関してスムーズな臨床現場復帰に配慮した環境	8
II－③. 実際に現在、支援体制を利用しながら外科勤務を続けている 女性勤務医師がいるか	9
II－④. 上記で「いる」場合、周囲の同僚医師の意見、反応について	9
II－⑤. 女性医師の勤務継続に関して配慮・支援について	10
II－⑥. その他、女性医師勤務についての意見	16
II－⑦. 「女性医師の勤務継続に関して配慮・支援について」と「女性医師勤務 についての意見」に対する事務局・会員・他からのコメント（一部）	17
III. 施設ごと	18
III－①. 仕事と家庭の両立に配慮した就業環境	18
III－②. 出産育児に関してスムーズな臨床現場復帰に配慮した環境	23
III－③. 施設ごとのサマリー	28
4. 報告書作成者注	29
5. 質問用紙	30

1. 調査の背景と目的

近年、外科医を志望する女性医師が増加している。欧米諸国に比べて、本邦では性別的仕事分担がのこり、女性にとって家事と仕事を両立させることはいまだに困難を伴うことが多い。2008年8月に日本外科学会女性医師支援委員会は本邦における女性医師の学会活動の現状に関して日本医学会分科会 105 学会に対しアンケート調査を行った。その結果、女性では認定医・専門医の取得率が低く、評議員・理事などの学会役員の選任率が極めて低く、女性の視点から見た問題点が把握されにくいことが指摘された。

2011年の第105回医師国家試験の合格者数の32.5%は女性であった。女性医師が増加しているが、女性外科医はそれ以上に増加している。外科では医師全体の労務環境改善のために、子育て支援、復職支援、他を真剣に考える時代になっている。

本調査は2010年に日本外科学会代議員の施設における、女性医師の継続就労の現況を調べることを目的として行った。

2. 調査設計

①アンケート対象 日本外科学会代議員 274名

②調査期間 2010年6月下旬～7月末

③調査方法

日本外科学会事務局から代議員のメールアドレスを入手し、エクセルファイル上での回答を依頼し、回収はファイルをメールに添付して、あるいはFAXにて記名で行った。メールアドレスを登録していない代議員には郵送した。

なお、催促はメール、電話、または手紙で行った。

④回答数 157 (回答率 57.3%)

3. 調査票の作成及び分析について

本調査票を作成するにあたって、京都大学外科交流センター女性勤務医師対策部会が平成21年5月に関連施設に対して行ったアンケート調査票を参考にした。

調査票の送付および回収はメディカルデータ・マネジメント 水上和寅氏の協力を得た。

I. 概要

96 施設回答(大学 77、一般病院 19) *回答施設の重複を除く

人数

病院幹部・管理職の女性医師数

○一般病院 ●大学病院

n = 19
1.2 ± 2.0

n = 77
1.3 ± 1.7

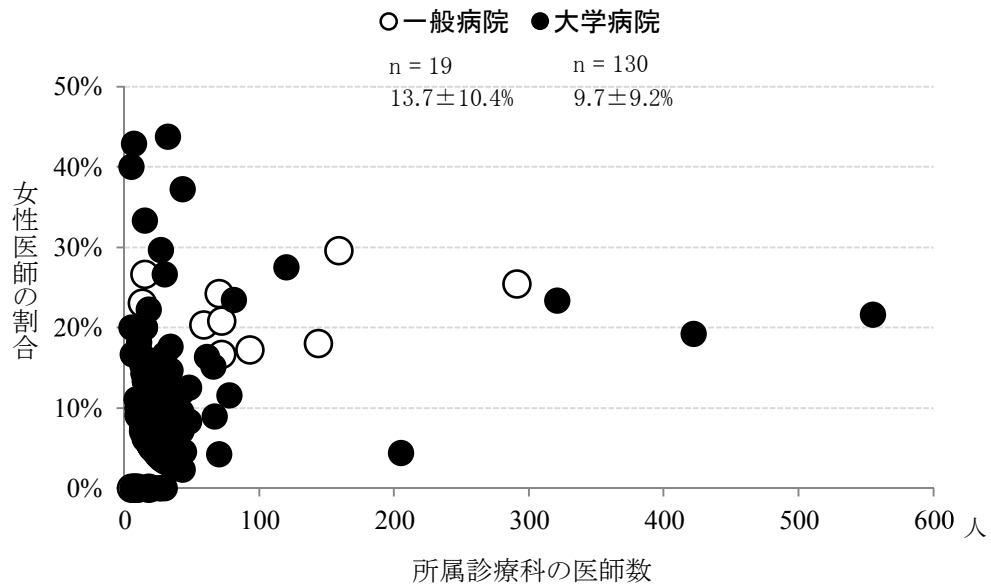
施設規模(病床数)

床

病院幹部・管理職に女性医師がすくないため、女性医師の継続就労を改善し、女性医師支援のためにルールを変えることがより困難な状況にある。

I－②. 所属診療科における女性医師の割合（後期研修医を含む）

149 施設（診療科）回答（大学 130、一般病院 19） ＊未記入分を除く
うち所属診療科に女性医師がいない数:33（大学 28、一般病院 5）

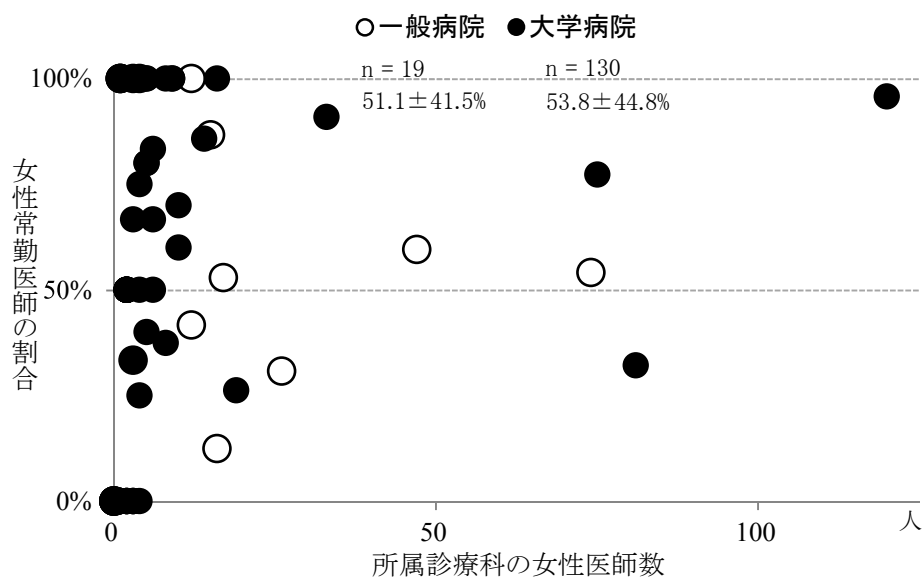


149 施設（診療科）からの回答（大学 130 箇所、一般病院 19 箇所）で、所属診療科に女性医師がいない施設（診療科）は 33 箇所あり、うち大学 28 箇所、一般病院 5 箇所であった。

女性医師の割合が最も多い診療科は東京女子医大第二外科 44%、名古屋大学乳腺・内分泌外科 43%、東海大学小児外科 40%の順であった。

I－③．所属診療科における女性常勤医師の割合〔女性全医師に対する〕
（後期研修医を含む）

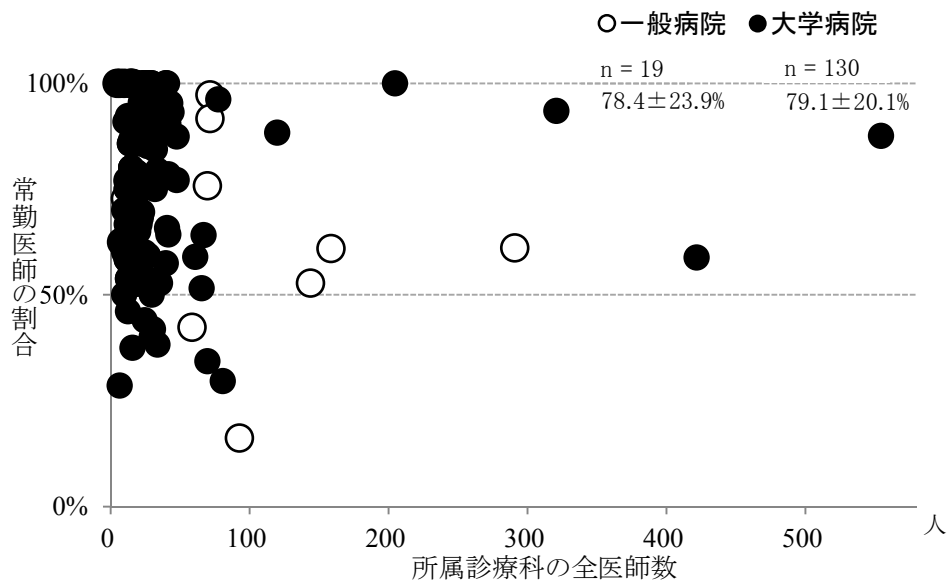
149 施設（診療科）回答（大学 130、一般病院 19） ＊未記入分を除く
うち所属診療科に女性医師がいない数:33（大学 28、一般病院 5）



149 施設うち、所属診療科に女性医師がいない(0%)のは 33 箇所。女性医師は常勤のみ(100%)であるところが、59 箇所であった。

I - ④. 所属診療科における常勤医師の割合 [全医師に対する]
(後期研修医を含む)

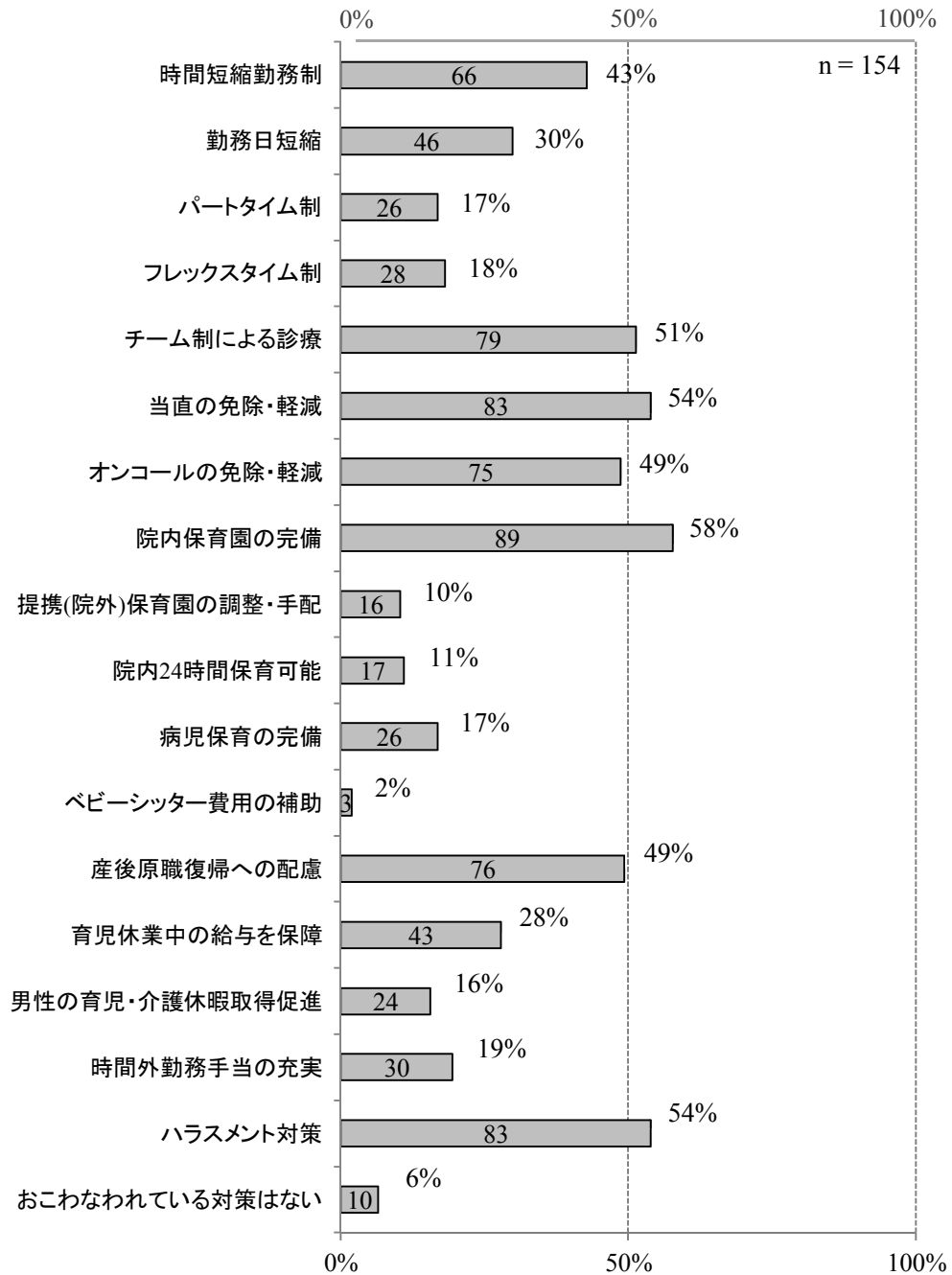
149 施設(診療科)回答(大学 130、一般病院 19) *未記入分除く



149 施設の所属診療科のうち 46 箇所は全員常勤医であった。
常勤男性医師のみで、女性医師がいないところが 12 箇所あった。
グラフに示されていないが、常勤でない男性医師がいても、女性医師は常勤のみの
ところは 26 箇所あった。

Ⅱ．施設内で整備されている育児中の常勤医師の、勤務態勢等について

Ⅱ－①．仕事と家庭の両立に配慮した就業環境



【グラフは前ページ参照】

仕事と家庭の両立に配慮した就業環境では、院内保育園の完備、当直の免除・軽減、ハラスメント対策、チーム制による診療が回答した半分以上の施設で整っていた。

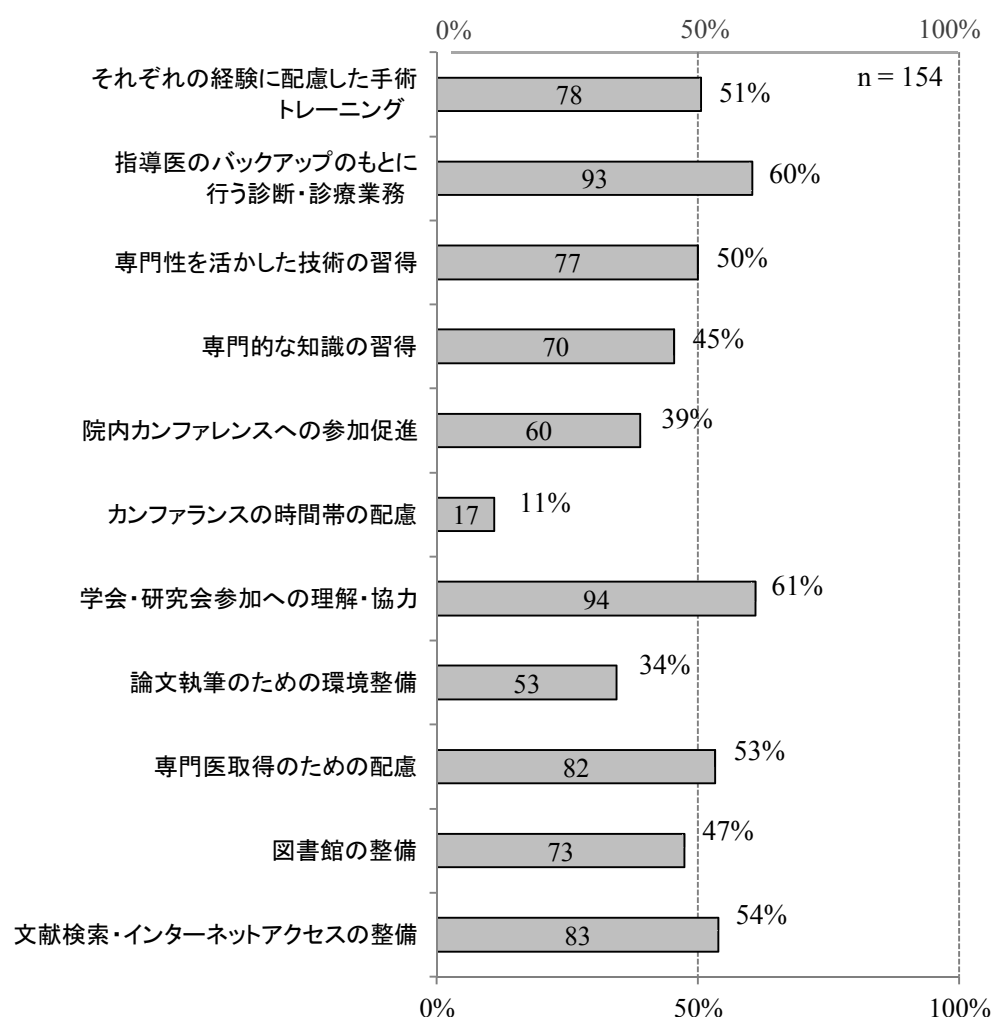
柔軟な勤務態勢としては、時間短縮勤務制＞勤務日短縮＞フレックス制＞パートタイム制の順で多かった。

外科を選択すると、病児保育、緊急一時保育は不可欠である。病児保育の完備（26%）に比べて、院内 24 時間保育（17%）、提携（院外）保育園の調整・手配（16%）は少なかった。ベビーシッター費用の補助は 3 施設で行われていた。

この調査で、男性の育児・介護休暇取得促進（16%）と、時間外勤務手当の充実（19%）は少なかった。

行われている対策はないと 10 施設が回答した。

Ⅱ－②. 出産育児に関してスムーズな臨床現場復帰に配慮した環境

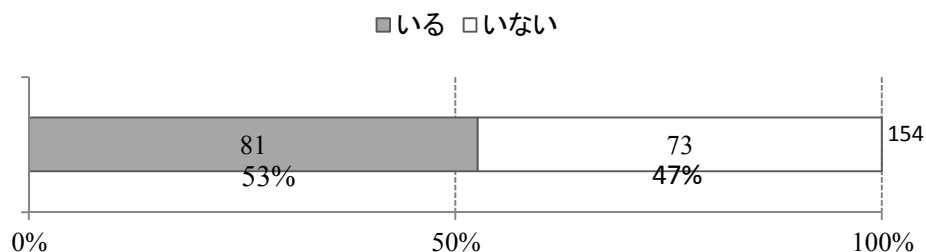


出産育児に関してスムーズな臨床現場復帰に配慮した環境としては、学会・研究会参加への理解・協力、指導医のバックアップのもとに行う診断・診療業務、文献検索・インターネットアクセスの整備、専門医取得のための配慮、それぞれの経験に配慮した手術トレーニングなどが挙げられるが、これらは半数以上の施設で整っていた。

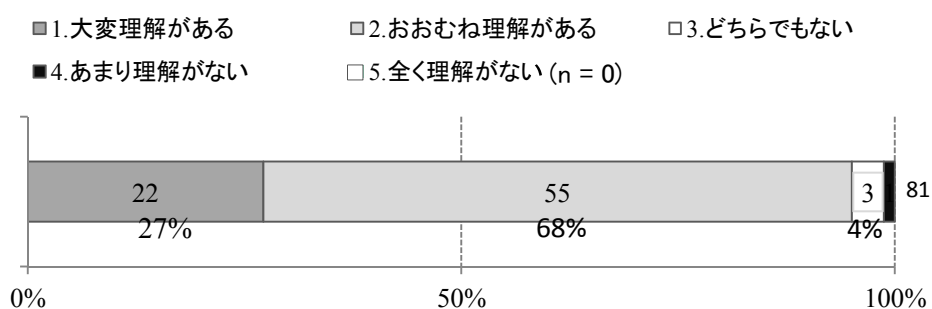
一方でカンファレンスの時間帯の配慮は 17 施設(11%)でしかされておらず、院内カンファレンスの参加促進も 39%と限られていた。

論文執筆のための環境整備は 34%であり、149 施設中大学病院は 130?施設で、大学病院のほとんどに図書館(室)が整備されているのに、図書館の整備が 47%と半分以下の認識であった。図書館(室)の整備は出産育児に関してスムーズな臨床現場復帰に配慮した環境として認識されていない回答者が多いものと考えられた。

Ⅱ－③．実際に現在、支援体制を利用しながら外科勤務を続けている
女性勤務医師がいるか



Ⅱ－④．上記で「いる」場合、周囲の同僚医師の意見、反応について



現在、支援体制を利用しながら外科勤務を続けている女性勤務医師がいたのは81施設(53%)であったが、自由記載には今まで女性医師が入局したことがない、妊娠出産したことがない、というコメントが多数見られた。

実際に現在、支援体制を利用しながら子育てをしつつ外科勤務を続けている女性勤務医師がいると答えた81施設で、周囲の同僚医師の意見、反応では大変理解がある(27%)と、おおむね理解がある(68%)を合わせると95%であった。

理解のある施設・診療科があるところでしか女性医師は妊娠出産を経ての継続就労はできないのであるか、または、実際の状況にかかわらず、代議員は子育て中の女性勤務医師に対し周囲の理解がある、と解釈している可能性がある。

Ⅱ－⑤. 女性医師の勤務継続に関して配慮・支援について

- 1 現在自身は4歳、7か月の2児の育児中です。上部消化管チームにて平日10時から4時の勤務、当直・オンコール・電話当番、土日の回診は免除です。結果として朝夕の回診やカンファレンスには参加できず、病棟業務にはあまり主体的には関われませんが、今後も消化器外科専門医を目指すにあたっては手術および検査などの手技の経験を中断しないことが重要ではないかと考え、教授ならびに医局長と相談し、現在の勤務形態を試みています。第1子出産後は大学院を経て、2歳から臨床勤務に復帰しました。当時は8時半から6時の勤務の予定でしたが、自分ひとりが帰宅することが心苦しく、結果的に夜7時まで勤務し、子供の就寝時間が遅くなり、子供に負担を強いる形となっていました。今回は、その経験を踏まえ、教授からも短時間勤務であることを周知してもらったこともあり、今のところは無理なく勤務を継続できています。個々の家庭の事情や、目指す医師像に応じて信頼できる上司と率直に意見を交わし、勤務形態を相談でき、さらにそれを実現できることはとても恵まれていると思います。しかし、今後は子供の成長に伴い胃、徐々に勤務も通常勤務にシフトしていかなければならないであろうことを考えると、外科医の長時間勤務が常態化している現状を改善しなければ、やはり長い目では消化器外科医の継続は難しいのではないかと考えています。(大学第一外科)
- 2 カンファレンスの時間帯などは現状で全てを時間内におこなうことは無理で、時間内におこなう場合は講義や手術などに影響が出る。女性医師への配慮も重要であるが、パートナーの協力を得て、カンファレンスなどへの参加をする必要もあると考える。ほとんどの質問は女性の立場での質問であり、残された男性医師の負担増にならない配慮が現在の質問項目には無いように思える。全てにおいて、育児などへの配慮も大切であるが、上記質問の中には配慮がわがままになってしまうこともある。朝9時から夕方5時までの勤務者と、朝8時から10時までの勤務者の給料が同等であれば、これは後者から文句が出るのは当然のことである。このあたりが、急患の来ない診療科と比較をされ、通常の9時から5時であれば時間短縮ではなく、通常の給料を要求されるケースが多い。しかし、外科医はこのような時間内で帰宅することが無理な診療科で、そこにあえて希望して入られた女性外科医たちであるので、この点は急患の来ない診療科と比較して権利を言われても無理が生じる。他の外科医と比較して少々給料面で下がっても仕方ないことと思っています。(大学小児外科)
- 3 妊娠・出産・育児期間中はその期間中に女性医師ができるだけ気遣いをしなくてよい業務・研修に集中してもらうようにしています。すなわち、研究(大学院を含む)や論文執筆、学会出席などに多くの時間を割くようにしています。今は女性医師がたまたま在籍していませんが、小児外科領域は女性医師の割合が高いので、今までにも多くの女性医師が育っています。現在小児外科学会指導医を取得しているものは4名ですが、うち2名は既婚者で、そのうち1名は現時点でも二人のこどもを育てています。当直免除などを実際に行っていましたが、手術のみ行って夜間の勤務などが義務化されていないと、当時は本人がイヤがりました。今教室に属している女性医師数(医局員数)は10名以上いますので、今後1-2年以内にきちんとしたルールを作ろうと考えています。現時点では、教授ならびに医局長がその都度判断して対応していることがほとんどです。(大学小児外科)
- 4 アンケート回答のメールを戴きましたが、 大学外科学講座には5診療科がありますが、解答は血管外科についてのみさせていただきました。5教授のうち日本外科学会代議員は消化器外科の○教授と、血管外科の私の2名ですが、すでに○教授から当大学外科学講座全体としての解答が送られていると思います。何度も請求がありましたので、解答させて戴きましたが、データ解析にあたっては重複しない様にご留意下さい。他施設は分りませんが、代議員にのみアンケートをされたのでは、十分なデータが得られない可能性があると思われます。以上、老爺心から(笑い)。(大学外科学講座血管外科)

- 5 専門分野での診療経験があればそれを生かす形で復帰をする。大学病院では外来業務を中心にを行う場合、関連病院での勤務を行う場合、これらは勤務時間に配慮し復職をされています。しかし、比較的若手医師が復帰後に専門医を取得できるような教育システムはありません。復帰前の医療レベルを活かした診療、検査などを含めた外来業務が主体となり、外科医として新たな技術を習得する環境は整備されていません。当科では女性医師の入局が少なかったこともあるかと思います。医局を離れ、自主的に、麻酔科に転向したり、他病院へ就職する形で復職する場合があります。(大学第二外科)
- 6 先日、初めて拡大医局会(関連施設の外科部長と医局のスタッフ)で女性医師の勤務環境改善について、議論された。「これまで女性の入局者は多かったが(とくに乳腺外科)、勤務環境が悪かったため勤務を続けることができなかった。」との、関連病院外科部長(女性)の発言があり、パートタイムなどで大学病院でも勤務を続けることができるよう配慮することが確認された。ただし、給与制度は病院が決めることなので、外科としての希望を出しても、認められるかどうか分からないのが現状である。(大学第一外科)
- 7 出産、育児などで忙しい場合、大学は非常勤医師として一部仕事をしながら、社会人枠ではいっている大学院生としての研究を中心に比較的自由度を高くして働いてもらっている。また、近頃の検診センター(週3回、半日程度)を中心に、大学は外来のみ半日を2回くらい働くなど、ある程度収入を得られるようにして、しかも時間的にはあまり負担がかからないようにし、仕事から離れないようにしている。(長い間完全に仕事から離れてしまうと復帰が困難なため)(大学学)
- 8 今回のアンケート対象である常勤、非常勤医師カテゴリーには大学院生が含まれていません。現在、当診療科に所属する大学院生10名のうち7名が女性医師(外科医)です。また、最近、大学院博士課程を修了し、大学病院の後期研修を経て、市中病院で勤務医として働いている女性医師が4名おります(1名は海外留学中)。「困りごとがあればいつでも相談に乗る」という姿勢で、それぞれの家庭環境等に配慮し、きめ細かい対応を心掛けております。(大学乳腺・内分泌外科)
- 9 結婚したら、早く子供を作るように言っているのですが、出産、育児を経験した女性医師がいないため、1、2の問いに答えることができません。配慮、支援とすれば、更衣室の整備ぐらいしか現在のところやっていません。(大学心臓血管外科)
- 10 最近、スタッフ外科医としてキャリアを積んできた医師が40歳を目前にして、結婚、出産を希望して辞職する例がありました。若いうちには結婚よりも仕事を第一優先して頑張る女医が多いかと思いますが、外科等の過酷な仕事であればなおさらパートナーの助けが必要で、外科を志す女医にはキャリアを本格的に積んでいく前に結婚するほうが、精神的に安定し、過酷な仕事でも長く続けられるかと思いますが。(大学心臓血管外科)
- 11 ・臨床からは一時的に離れることもありますが、時間等が許す範囲内でアルバイトとして関連病院(また専門疾患の診察が可能な病院)で臨床に携わってもらっています。・赴任する場合は、育児等に便利ように、例えば実家に近い病院への赴任を考慮しています。・前記にもありますが、チームで患者への治療を行うことによって、各個人の負担を軽減出来るように考慮しています。(大学心臓血管外科)
- 12 2の設問の意味がよくわかりません。的外れの回答かもしれませんがご了解ください。外科志望の女性レジデントはこの3月までおりました。2年程前には常勤女性外科医がおりましたが、ともに、本人の将来への希望と、指導者(外科部長)からの進路指導(このような道が君にはあっているように思うので参考にしてください)の双方を勘案して外科修練をおこなっていました。(病院)
- 13 女性としての特徴は妊娠、出産、育児ですが、この分野では当然全面的に配慮します。他の分野では女性であっても男性と何ら変わりません。女性に適した分野に進むことも進めています。たとえば当院で行われているASDのカテーテルインターベンションなど。心臓外科医でこの分野をする人が出てきてもよいと思います。(当院では120-130例/年あります)(大学心臓血管外科)

- 14 現在女性医師はおりませんが、初期研修医は、比較的多く女性医師が回ってきます。男性医師とまったく同じ研修をしております。また、同門には、8名の女性医師が働かれています。それぞれの関連病院の勤務規定に従って、研修したり勤務したりしています。研修先の選択などは、男女平等にしております。（ 大学 呼吸器外科）
- 15 「女性勤務医師に関する調査のお願い」のメールをいただきましたが、5年以上もの間、当科には女性勤務医師が在籍しておらず、具体的な対応方法も決定されていないため、アンケートにお答えすることは困難と思われます。今回のアンケートで、女性外科医の勤務体制に対する検討の必要性を痛感いたしました。今後、科内で協議したいと存じます。（ 大学 センター肝胆膵・小児外科）
- 16 女性外科医は患者さんが望む時代です。当科でも女性外科医に勤務してもらいたいのので、優秀な女性外科医を育成するための環境を整えています。一時的にレディース外来を設けて女性外科医に非常勤で勤務してもらいましたが、現在は残念ながら女性外科医は勤務していません。希望者がいればいつでも受け入れたいと思っています。（ 病院）
- 17 現在教室関連で出産育児経験者は1名のみです。その場合、当病院としての対応ではなく、教室として関連病院を含めた休暇・勤務態勢をひきました。将来的には育児中の女性医師に関しては、フレックスタイムの外来勤務が可能になるように乳腺外来の設立を県立がんセンターなどと協議しております。（ 大学 心臓血管外科）
- 18 これまで、病棟勤務者で、出産育児を経験した例は、ありません。ただ、現在大学院生（シニア非常勤兼任）で1名妊娠中のものが1名おり研究室のごみ捨てなどの負荷労働免除は行っております。基本的には大学院生ですので、自分のペースで研究を行うことが可能な状態で特に問題はありません。（ 大学 消化器外科）
- 19 わたくしどもの教室は、心臓血管外科、胸部外科（呼吸器）、乳腺内分泌外科の3診療科があります。乳腺内分泌外科に常勤の女性外科医がおり、上記の配慮をしております。また、関連施設にも乳腺内分泌外科を目指す後期臨床研修医がおり、育児中でもあり、上記のような配慮をしております。（ 大学 外科学）
- 20 乳腺に関する手術以外の診断・治療を担当することで、時間外勤務、オンコールのない勤務環境で継続している。このような条件で勤務できる関連病院を増やすよう努力している。研究に専念する期間は完全に臨床免除として、育児と両立するよう研究の時間を自分でコントロールする。（ 大学 乳腺・内分泌外科）
- 21 外科には現在初期研修医を除くと、女性医師は勤務していない。したがって、下記4への回答も「いない」となるが、出産後6ヶ月未満の麻酔科医師には、勤務内容の考慮、オンコールの免除などで対応している。質問5についても、上記麻酔科医師についての反応である。（ 病院）
- 22 出産、子育てに本人が必要と考える期間を、時間的制約のまったくない検診センター（内視鏡、超音波等施行）に移動させ、期間が終了した時点で、通常業務に復帰させるというシステムを構築している。やはり、キャリアが継続していることが重要と考えているため。（ 大学 外科学第一）
- 23 病院としては支援策を強化していると思う。診療科としては現在は独身の女医さんが1名のみなので、実質的には男性医師とほぼ同じ条件で仕事をいただいている。結婚や出産などがある場合は適宜教室として支援策を講じる必要があるだろうと認識をしている。（ 大学 呼吸器外科）
- 24 女性外科医育成を、教室の一つの使命としております。個々の状況に合わせて、結婚、妊娠、出産、育児という女性のキャリアと、外科医としての修練、診療、研究、教育というキャリアが両立できるよう、教室として全面的にサポートするつもりです。（ 大学 外科）
- 25 大学病院内については上記のごとくです。出張病院での出産育児につきましては 教授自ら女性医師のプラスになるように出張病院まで出向き交渉しています。出張病院に勤務している女性医師は出産育児の支援体制を可及的に得ながら産休中です。（ 大学 消化器外科）

- 26 当院では女性外科医師の勤務実績がありません。もし、来られたら「2.」でチェックしたように対応したいと思います。また、他科の女性医師との関連もありますが、可能な限り希望を聞いて、長く勤務できる環境を作りたいと思っています。（ 病院）
- 27 現在、女性医師がおりません。平成17年度に1人、入局しました。業務は男性と同じでした。独身の間は同じだと思います。子供さんができると、変わるといいますので、仕事のやりやすい環境づくりをしたいと思います。今は前と同じです。（ 大学心臓・血管外科）
- 28 昨年、育児中の女性医師が非常勤で働いてくれていた。保育所に子供を迎えに行くために、手術を早く降る必要があるときは、医局員全体で仕事を交代して協力していた。彼女は現在、関連施設の呼吸器外科で常勤医として活躍中です。（ 大学 呼吸器外科学）
- 29 女性医局員に対しては、当直、勤務時間に対しては、本人の希望も聞いて、配慮はしております。われわれの医局では女性医局員の数は極端に少なく、今まで出産、育児の配慮を必要とした女性医局員はおりません。（ 大学消化器外科・小児外科）
- 30 女性医師の中にも人それぞれ違った意見があり、個々の対応が必要と考えています。育児休暇等の女性特有の対応はよいのですが、仕事内容（勤務時間、当直等）は男性医師と別扱いされるのを好まない方もおります。（ 大学心臓外科）
- 31 現在当科には、女性医師がいません。そのため具体的対策はありません。今後のことを考えると、いろいろと取り組むこともあると思います。既に施行されている、他科、他院の方策を参考にしたいと思います。（ 大学心臓血管外科）
- 32 現在は、女性医師は2名（助教1名、後期研修医1名）であり、2人とも独身です。以前いた女医もすべて独身でしたので、特別な配慮を行っていません。状況が変わればそれに応じた対応を行う予定です。（ 大学外科学第二）
- 33 大学病院内（第1外科内）には女性外科医師はいません。院外のことですが医局として、夫と同一勤務病院としている（夫も外科医）。また、産休、育休をとれる病院に勤務してもらっている。（ 大学第一外科）
- 34 外科では有りませんが、麻酔科に女性が多くママさん麻酔医として9時～17時、週3日勤務体制で麻酔医を確保しています。時給制でこの勤務体制で常勤医とほぼ同額の月給が支給されています。（ 大学附属 病院外科）
- 35 当科の女性外科医は6名です。大学病院で小児外科1名、関連病院で小児外科1名、心臓外科1名、消化器外科3名です。結婚は3名がしており3名は独身です。特別独身率が高いとは思いません。（ 大学 心臓血管外科）
- 36 教授を含め大学・病院幹部に女性がいないことを今回のアンケートで初めて知りました（勿論看護師長は副院長ですが）、また心臓血管外科在職中に出産した女性はこれまでにいません。（ 大学心臓血管外科）
- 37 現在、医局に所属している女性外科医は1名のみで、関連病院に出張中です。また、独身でもあり、これまで教室として具体的な配慮や支援をする機会が少なかったのが実情です。（ 大学消化器外科）
- 38 女性医師は、現在大学病院にはいないが、関連病院に出向中である。出向病院で、勤務日短縮、勤務時間短縮等の勤務環境の協力、専門医取得のための配慮をお願いしている。（ 大学心臓血管外科）
- 39 家庭の事情を考慮し、当直、オンコール、時間外勤務を免除して、チーム医療に組み込んでいただいています。育児休業取得支援していただきました（産後9カ月）。（ 大学 病院消化器センター）
- 40 現在、出向中の女性医師1名おり、出向先に上記の配慮をお願いをしており、うまくやっていると聞いております。出向先に対する対策も必要ではないかと思います。（ 大学消化器外科）
- 41 出張病院に関しては、家庭環境を配慮しながら行っています。また、女性医師の出産育児休暇のみならず、夫が医局内の勤務の場合、育児休暇の促進を行っています。（ 大学移植・消化器外科）

- 42 現在は女性医師はいないが、本人の希望を聞き個別に対応することを心がけている。これまでには逆に「男性医師と区別しないで欲しい」というような要望が多かった。（ 大学消化器外科 肝胆膵外科）
- 43 執刀医として担当するときの、手術開始時間の配慮。出産育児の時、可能な範囲での仕事から開始する。外来診療のみから次第に手術患者を受け持つようにする。（ 大学第二外科）
- 44 学校行事への参加は学会参加と同様に公務として扱うので気兼ねなく参加できる。また医局の机とは別に休憩用に女性医師専用の部屋(15畳)を用意してある。（ 大学血管外科）
- 45 比較的時間がとりやすい大学院期間中に、出産育児を行うことが現実的対応として行われている。現在は、一人が休学しながら育児を行っており、来年復帰予定。（ 大学移植外科 学・小児外科学）
- 46 今後は女性外科医のキャリアアップが必要であり、海外留学を積極的に勧めている。現在も2名の女性外科医(1名は子供もあり)が海外留学している。（ 大学肝胆膵・移植外科）
- 47 当科は消化器外科、小児外科、呼吸器外科を担当しています。手術が定型的で、術後管理が比較的標準化されている呼吸器外科の人気の高いです。（ 大学消化器・一般外科、呼吸器外科、小児外科）
- 48 現時点では特にありませんが、今後女性医師勤務に関するワーキンググループを院内で立ち上げて、議論し。支援策を考えていく予定です。（ 病院外科）
- 49 医局員の総意により、勤務時間を当科独自で10時から15時として頂いている。土曜日、日曜日の当番はなく、当直も免除している。（ 大学呼吸器外科）
- 50 上記の医師数で後期研修医はすべて非常勤に入れてありますので、ご注意ください。給与は全て常勤と同じですが保険だけが違います。（ 病院心臓血管外科）
- 51 女性医師5名中4名が乳腺外科医です。育児中は、外来やマンモグラフィー読影など、育児中でも可能な業務を担当しています。（ 大学心臓血管外科）
- 52 乳腺外科専門医がおり、乳腺外科を目指す女性医師からの当院でのトレーニング希望があり、可能な限り協力している。（ 病院）
- 53 教室には女性外科医が多く、女性外科医の教育、外科医継続に対して理解し率先して行っていきたいと考えている。（ 大学第二外科）
- 54 手術参加は希望に一任している。すなわち、座ってできる病棟指示業務やカルテ業務を分担してもらっている。（ 大学心臓外科・呼吸器外科）
- 55 育児中の先生には朝夕のカンファレンスなど免除としています。大学院在学中の出産などを奨励しています。（ 大学腫瘍外科）
- 56 医局として女性医師の勤務地を配偶者の勤務地との関係で希望にそくして選択するよう最大限の配慮をする。（ 大学 臨床・腫瘍外科）
- 57 現在当科におきましては、女性外科医が在籍しておりませんので、特に現在は、取り組んでおりません。（ 大学病院 センター外科）
- 58 出産・育児休暇以外に、(希望があれば)勤務時間が不規則な臨床を離れられる大学院進学を勧めている。（ 大学 外科学）
- 59 産休後の休職期間の延長、乳腺外科など時間外勤務や急患が少ない診療科への専攻の変更の可能性の提示（ 大学肝胆膵外科）
- 60 女性外科医は結婚して子供できると退職される方が大部分です。結婚している方は9名中2名です。（ 大学消化器第2外科）
- 61 これまで、出産、育児休暇をとる女性がいなかったため、医局としての具体的な配慮などはありません。（ 大学乳腺内分泌外科）
- 62 当科では女性医師が過去、現在ともに在籍していないため、特段の対策がなされておりません。（ 大学センター呼吸器外科）

- 63 本人とよく面談して、できる限り希望に沿うような職場を与えられるように配慮しています。(大学消化器外科2)
- 64 現時点では女性医師はいない。女性支援という点では、男性の家庭での育児に参加を促す。(大学心臓血管外科)
- 65 麻酔科としては他のスタッフの症例に対するサポートを麻酔中も適宜行っています。(大学麻酔科)
- 66 女性医師専用の部屋の確保。女性医師に対する指導医の人选は慎重に行っている。(大学腫瘍外科)
- 67 状況に応じ個々に対応する。自分を含めた分野内での相互の協力態勢の維持。(大学外科)
- 68 女性医師専用の部屋(ロッカー、更衣、当直用ベッド)を設置した (大学第二外科)
- 69 海外留学を積極的に支援し, motivation を維持する。(大学心臓血管外科)
- 70 大学連携施設病院への出向や勤務について便宜が図られている。(大学 病院外科)
- 71 育児・家事に支障をきたさない範囲での出張等を考慮する。(大学 腫瘍学講座)
- 72 希望に応じた勤務形式 例:勤務日の短縮(週3日など) (大学外科)
- 73 働きやすい環境整備と人事考査による適材適所配置 (大学食道・乳腺甲状腺外科)
- 74 医学生(2年生)に対する男女参画授業を2コマ (大学呼吸器外科)
- 75 出産・育児をした者がいないため分からない。(大学消化器外科)
- 76 出張先や地域の配慮:夫の勤務先を考慮して。(大学消化器外科下部消化管)
- 77 結婚、妊娠、家族環境の変化に伴う職場変更 (大学肝胆膵・移植外科)
- 78 子供が病気の時は気軽に休んでもらう。(大学心臓血管外科)
- 79 院内保育が重要かと思われます。(大学第一外科)
- 80 負担の少ない勤務先の確保 (大学上部消化管外科)
- 81 常に出産を促しています。(大学 研究所 腫瘍外科)
- 82 現在、常勤で1名いる女性医師は未婚であり、特別な体制上の措置はしておりません。この他、関連病院人事においては、保育所への送り迎えが可能な病院への配置などを女性医師に対して行っています(常に完全にそうできているとは言えないかもしれませんが)。(大学呼吸器外科)

Ⅱ－⑥. その他、女性医師勤務についての意見

- 1 アンケートに記入しましたように、現在女性医師は4名いますが、既婚者は3名(1名は、全くお子さんを作るつもりが無く、2名は最近結婚したばかりで、もう少ししてから考えるとの事)ですが、お答えしようがなくて申し訳ありません。(大学医学部附属病院)
- 2 当科では女性外科医がいないため、よくわかりかねます。(大学 消化器外科)
- 3 現在女性心臓血管外科医は1名在職しておりますが、未婚であり通常通り勤務しております。(大学心臓血管外科)
- 4 「女性勤務医師に関する調査のお願い」のメールをいただきましたが、5年以上もの間、当科には女性勤務医師が在籍しておらず、具体的な対応方法も決定されていないため、アンケートにお答えすることは困難と思われます。今回のアンケートで、女性外科医の勤務体制に対する検討の必要性を痛感いたしました。今後、科内で協議したいと存じます。お役に立てずに申し訳ございませんでした。(大学 センター 肝胆膵・小児外科)
- 5 今後の女性外科医師皆様の一層のご活躍と会のご発展をお祈り申し上げます。(大学 病院)
- 6 項目1.の病院幹部・管理職の女性医師の欄は「1」名と致しましたが、この方は准教授兼副部長職にお就きです。捕捉の「病院長・学部長・教授等」に該当しないようでしたら「0」名になりますが、ご判断はご一任申し上げます。(大学第一外科)
- 7 日本の外科領域で女性がこれまで以上に活躍できる環境整備が必要です。何か、たとえば改善モデル施設的なことでも協力できる案があれば積極的に協力いたしますので、ご連絡ください。(大学 胃腸外科)
- 8 概要の返答をどうこたえるべきか迷いました。病院の幹部、管理職の女性医師数で教授の数を0にしました。基礎系には女性の教授が何人かおられますが臨床系のことと解釈しました。医師数に関して常勤は助教以上の医師として解釈しました。また、非常勤は医員だけをカウントしました。当科にはそれ以外に大学院生が20名ほどおり、時々診療にも参加しています。大学院生の中には女性医師が2名ほど在籍しています。(大学 外科)
- 9 私は○大学で小児外科学講座を担当しており、日本小児外科学会の理事ですので非選挙代議員仰せつかっております。
今回のアンケートに関しましては当大学の○教授が本学外科(統合外科)を代表して状況をまとめて添付いたしましたものをお送りしております。その中に私の講座も含まれておりますので、今回新たにはアンケートの回答を致しません。どうぞよろしくお願い申し上げます(大学 小児外科)

Ⅱ－⑦.「女性医師の勤務継続に関して配慮・支援について」と「女性医師勤務についての意見」に対する事務局・会員・他からのコメント（一部）

1. 「今まで女性医師が入局したことがない」
「今まで女性医師が妊娠・出産したことがない」
 - 外科を選択する人は減っているが、外科を選択する女性は4倍に増えている。
 - 入局してから、あるいは妊娠・出産してからルール作りをするのでは遅い。
2. 「大学院で産むように指導している」
 - 育児支援の必要性は乳幼児期にとどまらない。
 - 専門医・指導医に必要な症例を期間内に経験できない。
 - 保育所の充実と入所確約、院内保育所、病児保育、緊急呼び出し時の育児対応は必須である。
 - 就学前後の支援の強化、学童保育の充実がほしい。
 - 運動会、授業参観、PTA活動を公務にしてほしい。
 - 男性医師の育児休暇を促進してほしい。
3. 「カンファレンスへの参加は免除している」
「カンファレンスの時間は動かせない」
 - 「免除」は差別である。
 - 情報は共有されていることが重要。
 - 短時間に効率良くおこなうカンファレンス用シートの作成。
 - 重要な会議の開始時刻が遅く（19時以降）に設定されることが多く、子育て中の女性医師がキャリアからはずされていく。
4. 「育児中でも可能な業務を担当してもらっている」
「病棟指示やカルテ業務を分担してもらっている」
「手術以外の診断・治療を担当してもらっている」
「臨床免除により育児と両立するよう研究の時間を自分でコントロールしてもらう」
 - 手術にいれてもらえない
 - 専門医・指導医に必要な症例を期間内に経験できない
5. 「結婚して子供ができると退職することが大部分」
 - 周囲に負担がかかるからやめざるをえない。
 - 医局を離れ、麻酔科に転向したり、他病院に就職することになる。
 - 復帰後に専門医を取得できるような教育システムはない。
6. 「子供が病気の時には気軽に休んでもらう」
 - 代替要員がいるか
 - 他の医局員に対してはしわ寄せになっていないか？

Ⅲ. 施設ごと

Ⅲ―①. 仕事と家庭の両立に配慮した就業環境

代議員施設・診療科	① 仕事と家庭の両立に配慮した就業環境（複数回答可、○：整備している）																	
	時間短縮勤務制	常勤など） 勤務日短縮（週3日・4日勤務の	パートタイム制	フレックスタイム制	チーム制による診療	当直の免除・軽減	オンコールの免除・軽減	院内保育園の完備	提携（院外）保育園の調整・手配	院内24時間保育可能	病児保育の完備	ベビーシッター費用の補助	産後原職復帰への配慮	育児休業中の給与を保障	男性の育児・介護休暇取得促進	時間外勤務手当の充実	ハラスメント対策	おこなわれている対策はない
旭川医科大学第一外科	○							○		○	○			○	○	○	○	
旭川医科大学第二外科								○		○	○							
札幌医科大学救急部					○													
札幌医科大学第一外科	○	○				○												
札幌社会保険総合病院外科																		○
北海道大学腫瘍外科学分野								○						○				
弘前大学呼吸器・心臓血管外科					○			○					○			○	○	
青森市民病院★						○	○								○			
岩手医科大学外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○				
岩手医科大学心臓血管外科																		
東北厚生年金病院★	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		○	
東北大学移植・再建・内視鏡外科	○	○		○	○	○	○	○		○	○				○	○	○	
東北大学呼吸器外科	○	○			○	○		○			○		○	○	○	○	○	
東北大学消化器外科学分野（肝胆膵外科）					○			○		○	○					○	○	
東北大学生体調節外科学分野（胃腸外科）																		
東北大学乳腺・内分泌外科	○	○		○	○	○	○	○		○	○		○		○	○	○	
秋田大学呼吸器外科	○			○				○			○							
山形大学第一外科								○		○								
福島県立医科大学消化器・一般外科、呼吸器外科、小児外科	○	○			○	○	○	○		○			○		○	○	○	
筑波大学循環器外科	○			○	○	○	○						○					
筑波大学消化器外科	○	○			○		○						○				○	
東京医科大学茨城医療センター消化器外科			○		○			○					○	○	○		○	
栃木県立がんセンター外科								○						○				
獨協医科大学★	○	○						○										
群馬大学臓器病態制御系病態循環再生学講座					○	○	○	○							○		○	
群馬大学第二外科					○	○	○	○					○				○	
群馬大学病態総合外科学					○			○										
埼玉医科大学国際医療センター呼吸器外科																		○
埼玉医科大学総合医療センター肝胆膵・小児外科																		
埼玉社会保険病院								○									○	
自治医科大学さいたま医療センター外科	○	○		○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	
防衛医科大学校外科学講座					○								○	○				
防衛医科大学校外科学講座外科2																	○	○
千葉大学肝胆膵外科														○				

（＊）病院長もしくは病院全体として回答

代議員施設・診療科	① 仕事と家庭の両立に配慮した就業環境（複数回答可、○：整備している）																	
	時間短縮勤務制	常勤など勤務日短縮（週3日・4日勤務の	パートタイム制	フレックスタイム制	チーム制による診療	当直の免除・軽減	オンコールの免除・軽減	院内保育園の完備	提携（院外）保育園の調整・手配	院内24時間保育可能	病児保育の完備	ベビーシッター費用の補助	産後原職復帰への配慮	育児休業中の給与を保障	男性の育児・介護休暇取得促進	時間外勤務手当の充実	ハラスメント対策	おこなわれている対策はない
帝京大学ちば総合医療センター	○							○		○							○	
東京歯科大学市川総合病院	○		○			○	○	○					○	○			○	
東京慈恵会医科大学附属柏病院											○						○	
東京慈恵会医科大学血管外科	○	○		○	○	○	○	○	○		○		○					
東京慈恵会医科大学心臓外科		○			○				○		○			○			○	
東京慈恵会医科大学肝胆膵外科		○		○	○				○				○				○	
東京慈恵会医科大学上部消化管外科						○	○											
東京慈恵会医科大学★		○				○					○							
東京慈恵会医科大学附属青戸病院外科																		
NTT東日本関東病院外科	○				○	○	○						○	○			○	
三井記念病院★																	○	
社会保険中央総合病院★	○					○	○						○	○				
昭和大学附属豊洲病院外科	○	○	○	○											○			
帝京大学外科																		○
東京医科大学外科学第一講座									○				○					
東京医科大学消化器外科・小児外科																		○
東京医科歯科大学外科学第二講座						○	○	○				○	○		○		○	
東京女子医科大学消化器外科	○	○			○	○	○											
東京女子医科大学心臓血管外科	○	○			○	○	○						○					
東京女子医科大学第二外科					○	○		○			○		○					
東京女子医科大学東医療センター外科					○	○	○						○	○		○	○	
東京大学肝胆膵外科														○			○	
東京大学小児外科	○	○		○		○	○	○	○				○				○	
東京大学麻酔科	○				○	○	○	○					○				○	
東邦大学外科学講座心臓血管外科				○				○			○				○		○	
日本医科大学外科					○	○							○	○				
日本大学消化器外科																		○
日本大学消化器外科（肝・胆・膵領域 消化管領域）																		○
日本大学心臓・血管・呼吸器・総合外科																		○
白鬚橋病院★	○	○				○	○											
横浜市立大学心臓血管外科								○										
昭和大学横浜市北部病院消化器センター★					○	○	○						○	○				
聖マリアンナ医科大学小児外科	○		○		○	○	○					○				○	○	
聖マリアンナ医科大学心臓血管外科	○					○	○						○	○	○		○	

（＊）病院長もしくは病院全体として回答

代議員施設・診療科	① 仕事と家庭の両立に配慮した就業環境（複数回答可、○：整備している）																	
	時間短縮勤務制	常勤など 勤務日短縮（週3日・4日勤務の	パートタイム制	フレックスタイム制	チーム制による診療	当直の免除・軽減	オンコールの免除・軽減	院内保育園の完備	提携（院外）保育園の調整・手配	院内24時間保育可能	病児保育の完備	ベビーシッター費用の補助	産後原職復帰への配慮	育児休業中の給与を保障	男性の育児・介護休暇取得促進	時間外勤務手当の充実	ハラスメント対策	おこなわれている対策はない
東海大学小児外科	○	○			○	○	○	○	○								○	
東海大学消化器外科	○	○				○	○	○					○	○			○	
東海大学心臓血管外科								○					○	○			○	
北里大学外科					○	○	○		○				○	○			○	
北里大学呼吸器外科	○					○	○	○					○					
北里大学東病院外科★	○	○									○			○			○	
新潟大学心臓血管外科、呼吸器外科(第二外科)	○				○	○	○											
福井大学第一外科	○	○	○		○	○	○	○					○				○	
山梨大学外科学講座第一教室					○	○	○	○					○				○	
山梨大学第二外科	○	○			○	○	○	○					○	○			○	
信州大学心臓血管外科																		
岐阜大学腫瘍外科	○		○		○	○	○	○	○				○				○	
岐阜大学★	○	○	○	○		○	○	○									○	
静岡県立静岡がんセンター 肝・胆・膵外科					○	○	○	○		○			○				○	
静岡市立静岡病院★				○				○					○	○			○	
愛知医科大学外科学講座血管外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○			○	
愛知医科大学消化器外科	○	○	○	○	○	○	○		○				○				○	
藤田保健衛生大学内分泌外科									○									
藤田保健衛生大学消化器外科(下部消化管)					○		○	○									○	
藤田保健衛生大学消化器第2外科					○	○	○	○			○		○		○		○	
名古屋市立大学乳腺内分泌外科								○		○	○			○			○	
名古屋大学血管外科					○			○									○	
名古屋大学消化器外科2		○			○	○	○	○					○					
名古屋大学消化器外科Ⅰ	○				○		○	○										
名古屋大学心臓外科・呼吸器外科		○		○	○			○					○				○	
名古屋大学乳腺・内分泌外科	○				○			○										
三重大学胸部外科講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	
滋賀医科大学心臓血管外科	○	○			○	○	○	○					○				○	
京都大学 呼吸器外科学																	○	
京都大学肝胆膵・移植外科					○			○			○						○	
京都大学消化管外科学	○	○			○	○	○				○							
京都府立医科大学心臓血管外科																○	○	
関西医科大学附属枚方病院外科	○	○	○		○			○										
国家公務員共済組合連合会大手前病院★														○			○	

（＊）病院長もしくは病院全体として回答

代議員施設・診療科	① 仕事と家庭の両立に配慮した就業環境（複数回答可、○：整備している）																	
	時間短縮勤務制	常勤など 勤務日短縮（週3日・4日勤務の	パートタイム制	フレックスタイム制	チーム制による診療	当直の免除・軽減	オンコールの免除・軽減	院内保育園の完備	提携（院外）保育園の調整・手配	院内24時間保育可能	病児保育の完備	ベビーシッター費用の補助	産後原職復帰への配慮	育児休業中の給与を保障	男性の育児・介護休暇取得促進	時間外勤務手当の充実	ハラスメント対策	おこなわれている対策はない
星ヶ丘厚生年金病院	○	○		○	○			○		○	○		○			○		
大阪医科大学心臓血管外科					○	○		○					○	○			○	
大阪厚生年金病院	○	○	○	○		○	○	○			○		○	○		○	○	
大阪大学 呼吸器外科学						○	○											
大阪大学消化器外科			○			○							○		○		○	
大阪大学心臓血管外科														○				
大阪大学乳腺内分泌外科	○				○			○						○	○	○	○	
神戸市立医療センター中央市民病院	○					○	○	○										
神戸大学食道胃腸外科					○													
神戸大学心臓血管外科					○	○	○	○					○			○	○	
兵庫医科大学心臓血管外科	○	○				○							○					
和歌山県立医科大学外科学第2講座	○	○	○		○	○	○						○					
和歌山県立医科大学心臓血管外科	○			○	○	○	○	○		○			○				○	
鳥取大学器官再生外科学	○				○	○	○											
岡山大学腫瘍・胸部外科学講座			○			○	○	○			○						○	
岡山大学心臓血管外科			○	○		○	○	○					○	○	○	○	○	
川崎医科大学心臓血管外科								○									○	
広島市立広島市民病院心臓血管外科			○			○	○	○					○			○		
広島大学原爆放射線医科学研究所 ゲノム疾患治療研究部門・腫瘍外科	○	○		○	○	○	○	○					○				○	
広島大学病態制御外科学 心臓血管外科	○	○		○	○	○	○	○		○						○	○	
福山市市民病院外科	○				○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	
山口大学器官制御医科学講座(第1外科)																		○
山口大学第二外科						○		○					○				○	
徳島市民病院外科				○	○		○							○			○	
徳島大学外科 消化器・移植外科	○					○	○	○					○	○	○		○	
徳島大学食道・乳腺甲状腺外科					○	○	○						○				○	
香川大学消化器外科			○		○			○					○	○			○	
愛媛大学★	○	○				○	○	○										
愛媛大学心臓・血管外科								○					○					
高知大学外科学講座外科1					○	○		○										
高知大学心臓血管外科	○	○	○	○		○		○					○				○	
久留米大学外科	○	○				○	○	○									○	
久留米大学第一外科			○		○	○	○	○	○		○		○				○	
久留米大学第二外科						○	○	○					○					

（＊）病院長もしくは病院全体として回答

代議員施設・診療科	① 仕事と家庭の両立に配慮した就業環境（複数回答可、○：整備している）																	
	時間短縮勤務制	常勤など勤務日短縮（週3日・4日勤務の）	パートタイム制	フレックスタイム制	チーム制による診療	当直の免除・軽減	オンコールの免除・軽減	院内保育園の完備	提携（院外）保育園の調整・手配	院内24時間保育可能	病児保育の完備	ベビーシッター費用の補助	産後原職復帰への配慮	育児休業中の給与を保障	男性の育児・介護休暇取得促進	時間外勤務手当の充実	ハラスメント対策	おこなわれている対策はない
九州大学小児外科学分野			○		○		○		○				○	○				
九州大学心臓血管外科	○	○	○		○			○		○			○		○		○	
九州大学第二外科	○			○	○	○	○	○					○				○	
九州大学外科学講座 臨床・腫瘍外科					○	○		○		○	○		○				○	
社会医療法人池友会新小文字病院														○		○	○	
福岡大学消化器外科			○		○	○		○					○	○			○	
福岡大学心臓血管外科																		○
佐賀大学一般・消化器外科	○				○	○	○	○					○					
長崎大学移植・消化器外科					○	○		○			○		○	○	○	○	○	
長崎大学腫瘍外科	○	○				○	○	○			○		○				○	
熊本大学心臓血管外科	○	○			○	○	○	○									○	
熊本大学消化器外科					○										○			
熊本大学移植外科学・小児外科学	○							○								○		
九州大学病院別府先進医療センター外科																		
大分大学第二外科	○				○	○	○						○					
宮崎大学腫瘍機能制御外科学				○	○	○	○	○					○	○				
鹿児島大学先進治療科学専攻 腫瘍学講座	○				○	○	○	○					○					
琉球大学第二外科		○	○										○					
合計	66	46	26	28	79	83	75	89	16	17	26	3	76	43	24	30	83	10

（★） 病院長もしくは病院全体として回答

Ⅲ―②. 出産育児に関してスムーズな臨床現場復帰に配慮した環境

代議員施設・診療科	② 出産育児に関してスムーズな臨床現場復帰に配慮した環境 (複数回答可、○:整備している)										
	それぞれの経験に配慮した手術	指導医のバックアップのもとに行う診断・診療業務	専門性を活かした技術の習得	専門的な知識の習得	院内カンファレンスへの参加促進	カンファランスの時間帯の配慮 (夕方・早朝は避けるなど)	学会・研究会参加への理解・協力	論文執筆のための環境整備	専門医取得のための配慮	図書館の整備	アクセスの整備 文献検索・インターネット
旭川医科大学第一外科	○	○	○	○	○		○		○	○	○
旭川医科大学第二外科	○	○									
札幌医科大学救急部		○									
札幌医科大学第一外科	○	○							○		
札幌社会保険総合病院外科											
北海道大学腫瘍外科学分野	○		○	○	○		○		○	○	○
弘前大学呼吸器・心血管外科	○						○	○	○		○
青森市民病院★	○	○	○				○	○	○		
岩手医科大学外科	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
岩手医科大学心血管外科											
東北厚生年金病院★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東北大学移植・再建・内視鏡外科		○			○		○			○	○
東北大学呼吸器外科							○			○	○
東北大学消化器外科学分野(肝胆膵外科)							○	○	○	○	○
東北大学生体調節外科学分野(胃腸外科)											
東北大学乳腺・内分泌外科	○	○		○	○		○			○	○
秋田大学呼吸器外科	○	○	○		○		○		○		
山形大学第一外科	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
福島県立医科大学消化器・一般外科、呼吸器外科、小児外科	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
筑波大学循環器外科		○	○	○			○	○			
筑波大学消化器外科			○	○					○	○	○
東京医科大学茨城医療センター消化器外科		○			○		○	○	○	○	○
栃木県立がんセンター外科										○	○
獨協医科大学★							○	○		○	○
群馬大学臓器病態制御系病態循環再生学講座	○	○	○	○	○		○		○	○	
群馬大学第二外科	○	○	○	○	○		○	○	○		○
群馬大学病態総合外科学										○	○
埼玉医科大学国際医療センター呼吸器外科											
埼玉医科大学総合医療センター肝胆膵・小児外科											
埼玉社会保険病院							○		○	○	○
自治医科大学さいたま医療センター外科	○	○	○	○			○		○	○	○
防衛医科大学校外科学講座	○	○					○				
防衛医科大学校外科学講座外科2											
千葉大学肝胆膵外科		○	○	○	○		○		○	○	○

(★) 病院長もしくは病院全体として回答

代議員施設・診療科	② 出産育児に関してスムーズな臨床現場復帰に配慮した環境（複数回答可、○：整備している）											
	そ れ ぞ れ の 経 験 に 配 慮 し た 手 術	指 導 医 の バ ッ ク ア ッ プ の も と に	行 う 診 断 ・ 診 療 業 務	専 門 性 を 活 か し た 技 術 の 習 得	専 門 的 な 知 識 の 習 得	院 内 カン フ ァ レン ス への 参 加 促 進	（ ヘ タ 方 ・ 早 朝 は 避 ける な ど ） カン フ ァ ラン スの 時 間 帯 の 配 慮	学 会 ・ 研 究 会 参 加 への 理 解 ・ 協 力	論 文 執 筆 の た め の 環 境 整 備	専 門 医 取 得 の た め の 配 慮	図 書 館 の 整 備	ア ク セ ス の 整 備 文 献 検 索 ・ イン ター ネ ット
帝京大学ちば総合医療センター	○	○				○		○		○	○	○
東京歯科大学市川総合病院	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
東京慈恵会医科大学附属柏病院												
東京慈恵会医科大学血管外科		○	○					○				
東京慈恵会医科大学心臓外科	○	○			○			○			○	○
東京慈恵会医科大学肝胆脾外科									○	○	○	○
東京慈恵会医科大学上部消化管外科				○							○	○
東京慈恵会医科大学★		○			○			○			○	○
東京慈恵会医科大学附属青戸病院外科												
NTT東日本関東病院外科		○						○				
三井記念病院★												
社会保険中央総合病院★		○	○				○	○			○	○
昭和大学附属豊洲病院外科		○				○	○					
帝京大学外科												
東京医科大学外科学第一講座												
東京医科大学消化器外科・小児外科												
東京医科歯科大学外科学第二講座												
東京女子医科大学消化器外科	○	○	○	○	○	○						
東京女子医科大学心臓血管外科	○		○	○	○	○		○		○		○
東京女子医科大学第二外科	○	○	○					○		○		
東京女子医科大学東医療センター外科	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
東京大学肝胆脾外科		○	○	○	○			○	○	○	○	○
東京大学小児外科	○		○	○	○			○	○	○		○
東京大学麻酔科		○			○	○		○		○	○	○
東邦大学外科学講座心臓血管外科											○	○
日本医科大学外科	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○
日本大学消化器外科												
日本大学消化器外科（肝・胆・膵領域 消化管領域）											○	○
日本大学心臓・血管・呼吸器・総合外科		○								○		
白鬚橋病院★								○		○		
横浜市内立大学心臓血管外科												
昭和大学横浜市北部病院消化器センター★	○	○	○	○	○			○				
聖マリアンナ医科大学小児外科					○	○		○		○	○	○
聖マリアンナ医科大学心臓血管外科								○		○	○	○

(*) 病院長もしくは病院全体として回答

代議員施設・診療科	② 出産育児に関してスムーズな臨床現場復帰に配慮した環境(複数回答可、○:整備している)										
	それぞれの 経験に 配慮した 手術	指導医の バックアップ のもとに	専門性を 活かした 技術の習得	専門的な 知識の習得	院内カンファ レンスへの 参加促進	カンファ ランスの 時間帯の 配慮 (夕方・早朝は 避けるなど)	学会・研究 会参加への 理解・協力	論文執筆 のための 環境整備	専門医取得 のための 配慮	図書館の 整備	アクセスの 整備 文献検索・ インターネット
東海大学小児外科	○										
東海大学消化器外科	○	○	○	○	○		○			○	○
東海大学心臓血管外科											
北里大学外科	○	○	○	○			○	○	○	○	○
北里大学呼吸器外科	○				○	○	○	○			
北里大学東病院外科★	○		○	○					○		
新潟大学心臓血管外科、呼吸器外科(第二外科)		○			○					○	○
福井大学第一外科	○		○	○	○		○		○	○	○
山梨大学外科学講座第一教室	○	○	○	○	○		○	○	○		
山梨大学第二外科	○	○		○	○		○	○	○	○	○
信州大学心臓血管外科											
岐阜大学腫瘍外科	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
岐阜大学★							○				
静岡県立静岡がんセンター 肝・胆・膵外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
静岡市立静岡病院★		○			○	○	○		○	○	○
愛知医科大学外科学講座血管外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛知医科大学消化器外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
藤田保健衛生大学内分分泌外科		○			○		○				
藤田保健衛生大学消化器外科(下部消化管)											
藤田保健衛生大学消化器第2外科	○	○	○				○	○		○	○
名古屋市立大学乳腺内分分泌外科	○	○	○	○							
名古屋大学血管外科	○	○					○		○		
名古屋大学消化器外科2		○	○	○	○		○	○	○	○	○
名古屋大学消化器外科 I	○		○	○							
名古屋大学心臓外科・呼吸器外科		○		○			○	○			○
名古屋大学乳腺・内分分泌外科			○						○		○
三重大学胸部外科講座	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
滋賀医科大学心臓血管外科	○	○	○	○				○	○	○	○
京都大学 呼吸器外科学											
京都大学肝胆膵・移植外科	○		○		○	○				○	○
京都大学消化管外科学		○					○	○	○	○	○
京都府立医科大学心臓血管外科											○
関西医科大学附属枚方病院外科	○	○	○						○	○	
国家公務員共済組合連合会大手前病院★	○	○	○	○				○			○

(*) 病院長もしくは病院全体として回答

代議員施設・診療科	② 出産育児に関してスムーズな臨床現場復帰に配慮した環境(複数回答可、○:整備している)										
	それぞれの 経験に 配慮した 手術	指導医の バックアップ のもとに	専門性を 活かした 技術の習得	専門的な 知識の習得	院内カン ファレンス への参加 促進	カンファ ランスの 時間帯の 配慮 (夕方・早 朝は避ける など)	学会・研 究会参加 への理解・ 協力	論文執筆 のための 環境整備	専門医取 得のため の配慮	図書館の 整備	アクセス の整備 文献検索・ インターネ ット
星ヶ丘厚生年金病院	○	○	○		○		○		○	○	○
大阪医科大学心臓血管外科	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
大阪厚生年金病院	○	○		○		○	○		○	○	○
大阪大学 呼吸器外科学		○									
大阪大学消化器外科											
大阪大学心臓血管外科	○	○	○	○	○		○	○	○		
大阪大学乳腺内分泌外科	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
神戸市立医療センター中央市民病院		○	○	○							
神戸大学食道胃腸外科		○					○				
神戸大学心臓血管外科	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
兵庫医科大学心臓血管外科	○						○		○		
和歌山県立医科大学外科学第2講座	○	○	○	○	○		○	○	○		
和歌山県立医科大学心臓血管外科		○	○	○							○
鳥取大学器官再生外科学	○			○							
岡山大学腫瘍・胸部外科学講座		○	○	○			○	○	○		
岡山大学心臓血管外科	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
川崎医科大学心臓血管外科											
広島市立広島市民病院心臓血管外科							○		○	○	○
広島大学原爆放射線医科学研究所 ゲノム疾患治療研究部門・腫瘍外科	○	○	○	○	○		○	○	○		○
広島大学病態制御外科学 心臓血管外科	○	○	○	○	○		○		○		
福山市民病院外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山口大学器官制御医科学講座(第1外科)											
山口大学第二外科	○	○					○		○	○	○
徳島市民病院外科	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
徳島大学外科 消化器・移植外科			○				○	○	○		○
徳島大学食道・乳腺甲状腺外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川大学消化器外科	○	○	○	○			○		○	○	○
愛媛大学★	○	○	○	○			○		○		○
愛媛大学心臓・血管外科											
高知大学外科学講座外科1	○	○	○				○	○	○		
高知大学心臓血管外科	○	○	○		○		○			○	○
久留米大学外科		○	○	○	○		○				
久留米大学第一外科		○	○	○	○		○	○	○	○	○
久留米大学第二外科			○	○							

(*) 病院長もしくは病院全体として回答

代議員施設・診療科	② 出産育児に関してスムーズな臨床現場復帰に配慮した環境(複数回答可、○:整備している)										
	それぞれの経験に配慮した手術	指導医のバックアップのもとに行う診断・診療業務	専門性を活かした技術の習得	専門的な知識の習得	院内カンファレンスへの参加促進	ヘタ方・早朝は避けるなど(カンファ・ランスの時間帯の配慮)	学会・研究会参加への理解・協力	論文執筆のための環境整備	専門医取得のための配慮	図書館の整備	アクセスの整備 文献検索・インターネット
九州大学小児外科学分野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
九州大学心臓血管外科										○	○
九州大学第二外科		○	○	○	○		○	○	○	○	○
九州大学外科学講座 臨床・腫瘍外科	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
社会医療法人池友会新小文字病院	○	○			○		○		○	○	○
福岡大学消化器外科	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
福岡大学心臓血管外科											
佐賀大学一般・消化器外科	○	○			○						
長崎大学移植・消化器外科	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
長崎大学腫瘍外科	○	○	○	○	○	○	○		○		○
熊本大学心臓血管外科	○	○	○					○	○		
熊本大学消化器外科						○			○		
熊本大学移植外科学・小児外科学											
九州大学病院別府先進医療センター外科											
大分大学第二外科	○	○					○	○	○	○	○
宮崎大学腫瘍機能制御外科学	○	○	○				○	○	○		
鹿児島大学先進治療科学専攻 腫瘍学講座	○	○	○	○			○	○	○		
琉球大学第二外科											
合計	78	93	77	70	60	17	94	53	82	73	83

(★) 病院長もしくは病院全体として回答

Ⅲ—③. 施設ごとのサマリー

- ◆ 時間短縮勤務制、勤務日短縮（週3日・4日勤務の常勤など）、パートタイム制、フレックスタイム制の4種類がそろってあったのは、岩手医科大学外科、東北厚生年金病院、昭和大学付属豊洲病院外科、岐阜大学、愛知医科大学血管外科学、愛知医科大学消化器外科、三重大学胸部外科、大阪厚生年金病院、高知大学心臓血管外科であった。
- ◆ 院内保育園が完備し、しかも提携（院外）保育園の調整・手配をするところは、岩手医科大学外科、東北厚生年金病院、東京慈恵会医科大学病院血管外科、東京大学小児外科、東海大学小児外科、岐阜大学腫瘍外科、愛知医科大学外科学血管外科学、三重大学胸部外科、久留米大学第一外科であった。
- ◆ 院内24時間保育可能と病児保育の完備がそろってあったのは8施設であった。
- ◆ ベビーシッター費用の補助は、東北厚生年金病院、東京医科歯科大学外科学第二、聖マリアンナ医科大学小児外科の3箇所が行っていた。
- ◆ 男性の育児・介護休暇取得促進、時間外勤務手当の充実は男性医師の労働環境を改善するが、2つともそろって整備されていたのは11箇所であった。
- ◆ 行われている対策は無いと答えた施設は本調査で10箇所あった。誠実な対応を今後に期待したい。
- ◆ 施設に院内保育園が完備していて、院内24時間保育が可能で、病児保育が完備されているのに、回答した代議員が整備していると認識していなことが複数あった。施設側の周知は必要である。

4. 報告書作成者注

- ☐ 本調査の質問用紙は代議員に送ったが、代議員以外から返送されてきたものが21件あった
- ☐ 自由記載には、明らかに代議員からでは無いと思われるコメントが含まれていた。
- ☐ 本報告書はアンケート調査の結果であり、客観的な評価ではなく、主観的である。そのため、必ずしも実際と一致していないことがある。
- ☐ 本調査では関係する外科系学会事務局に回収の協力をお願いした。協力してくださった学会があった一方で、協力を断った学会があった。
- ☐ 自由記載の個人名、固有名詞は消去し、特定できないようにした。もし、これでも特定できる可能性がある場合には事務局までご連絡をいただきたい。

5. 質問用紙

日本外科学会の代議員の施設における 女性勤務医師に関するアンケート調査（2010.06）

日本女性外科医会

病院名	
記入者	

I. 概要

1. 病院幹部、管理職の女性医師数 (病院長、学部長、教授、等)	常勤		名
	非常勤		名
2. 貴科における医師数(後期研修医を含む)	常勤		名
	非常勤		名
3. そのうちの女性医師数(後期研修医を含む)	常勤		名
	非常勤		名

II. 貴科（院）で整備されている育児中の常勤医師の、勤務態勢等について以下の中から選択してください

（複数回答可）

1. 仕事と家庭の両立に配慮した就業環境

- ☐ 時間短縮勤務制
- ☐ 勤務日短縮(週3日・4日勤務の常勤など)
- ☐ パートタイム制
- ☐ フレックスタイム制
- ☐ チーム制による診療
- ☐ 当直の免除・軽減
- ☐ オンコールの免除・軽減
- ☐ 院内保育園の完備
- ☐ 提携(院外)保育園の調整・手配
- ☐ 院内24時間保育可能
- ☐ 病児保育の完備
- ☐ ベビーシッター費用の補助
- ☐ 産後原職復帰への配慮
- ☐ 育児休業中の給与を保障
- ☐ 男性の育児・介護休暇取得促進
- ☐ 時間外勤務手当の充実
- ☐ ハラスメント対策
- ☐ おこなわれている対策はない

ページ（1）

2. 出産育児に関して、スムーズな臨床現場復帰に配慮した環境（複数回答可）

- ☐ それぞれの経験に配慮した手術トレーニング
- ☐ 指導医のバックアップのもとに行う診断・診療業務
- ☐ 専門性を活かした技術の習得
- ☐ 専門的な知識の習得
- ☐ 院内カンファレンスへの参加促進
- ☐ カンファレンスの時間帯の配慮（夕方・早朝は避けるなど）
- ☐ 学会・研究会参加への理解・協力
- ☐ 論文執筆のための環境整備
- ☐ 専門医取得のための配慮
- ☐ 図書館の整備
- ☐ 文献検索・インターネットアクセスの整備

3. 外科として上記以外に女性医師の勤務継続に関して配慮・支援をしておられることがありましたらご自由にお書きください。

4. 実際に現在上記2や3のような支援体制を利用しながら外科勤務を続けておられる女性勤務医師はいますか？

回答4

☐ 1.いる ☐ 2.いない

5. 前記で「いる」場合、周囲の同僚医師の意見、反応はいかがでしょう？

回答5

☐ 1.大変理解がある

☐ 2.おおむね理解がある

☐ 3.どちらでもない

☐ 4.あまり理解がない

☐ 5.全く理解がない

2011 年 5 月 16 日初版
2011 年 5 月 19 日 ver. 1.1
2011 年 5 月 20 日 ver. 1.2

日本女性外科医会 事務局
富澤康子
<http://jaws.umin.jp/>
info-jaws@hij.twmu.ac.jp
〒162-8666 新宿区河田町 8－1
東京女子医科大学心臓血管外科学教室内
TEL: 03-3353-8111 ext. 23111
FAX: 03-3356-0441